

「霊」である神の心を感じる現場！
今年も恵みのうちに行われたマンミン夏のキャンプ、その速報をお伝えする。

宝の中の宝は信仰
本教会の開拓以来30年間、イ・ジェロク牧師が強調してきた何よりも尊い「霊の信仰」とはどんな信仰だろうか。
支教会9月スケジュール

私たちの救い主イエス様の御足の跡を追って
IV.エルサレム編
聖地巡礼シリーズの最終回。今回はイエス様が十字架で救いのみわざを成し遂げられたエルサレム周辺を歩く。

万民ニュース

第118号 2012. 8. 26.

MANMIN NEWS

TEL: 82-2-818-7042
www.manmin.org/Japanese

「霊」である神の心を感じる現場！ 2012年マンミン男女宣教会夏のキャンプ、海外23か国から参加



体育大会



トンボ体験



キャンプファイヤー

今年8月6日、「マンミン男女宣教会夏のキャンプ」が全羅北道ムジュ・ドギョサンリゾートのジャンピングパークで開かれた。聖徒たちは2泊3日、多彩なプログラムを通して霊である神の心について学び、信仰を育てた。

韓国の各地と日本、アメリカ、ドイツ、スイス、フランス、ケニア、中国、台湾など23か国の牧会者と聖徒300人以上が参加して、国際的な行事になった。タイ、マレーシア、フェロー諸島からは聾啞者50人が参加した。

初日の教育で講師イ・ボンニム祈禱院は「美しい心作り」(第二コリント2:14-16)というメッセージで、御霊に属する心に変えられる秘訣を伝えた。「罪と悪、真理に逆らうもの、闇など心のかすを取り出して、美しい御霊に属する心に変えられるには、慕う心がなければならないし、決断して努力することが必要」と強

調した。そして、忍耐をもって火のように祈っていくとき、神の恵みによって自分を変えさせることができると説明した。続いて聖霊に満たされた賛美と祈りの時間があった。

その後の「空の観察」では、会場のジャンピングパークの上空だけ雲が晴れて、夜空に点々と輝く多くの星を見ることができた。また、流れ星と踊る星などを見て、自然現象を通して悟らせてくださる神の愛に感謝した。

二日目の午前には体育大会があった。今年から教区対抗の体育大会であるだけに聖徒の関心は大きく、1大大教区、2大大教区、3大大教区、支教会・海外聖徒の計4チームが競い合った。

入場式を皮切りに、堂会長イ・ジェロク牧師の録音された開会宣言と祈りに続き、総括大教区長イ・スジン牧師のキックオフがあった。競技は10種目(玉

入れ、100メートル競走、長距離競走、団体縄跳び、PK戦、サッカー、バレーボール、大玉転がし、綱引き、リレー)で計14個の金メダルをめぐる競った。

どの競技も迫力あふれる対決で、各チームの熱を帯びた応援合戦が繰り広げられた。その結果、2大大教区が金メダル7個で優勝トロフィーを獲得、カン・ソンヒ、チャ・スヒョン執事がそれぞれ男女MVPの栄光を手にした。

夕方の教育では、芸能委員会委員長イ・ヒジン牧師が「霊」(ヨハネ4:24)というメッセージで「霊とは父なる神の心で、善そのものであり、愛であること」を伝えた。イ・ヒジン牧師は「家族、親戚、同僚など周りの人々に対するとき、どれほど耐え忍んで理解して、愛をもって犠牲になって仕えているのか、また、どれほど神の心が込められていて善と愛があるのか自分の心をチェックすれば、御霊

に属する心に変えられた程度がわかる」と説明した。その後、悔い改めの祈りをしてから、聖霊に満される祈りの時間を持った。

教育の後、全国男女宣教会の総指導教師イ・ヒソン牧師の導きでキャンプファイヤーがあったが、天国の望みあふれる賛美と花火で神に栄光を帰した。韓国国内と海外から参加した聖徒たちが神の愛で一つになる感動の現場だった。

キャンプは堂会長イ・ジェロク牧師が祈ったとおり、終始涼しい天気のもとで行われた。今年も数えきれないほどトンボが聖徒の手や肩に飛んできてとまり、ともにおられる神の愛を感じることができた。感謝と喜び、天国の望みがあふれたキャンプを通して恵みと感動を下さった父なる神に、すべての感謝と栄光をお帰しする。

宝の中の宝は信仰

「信仰は望んでいる事がらを保証し、目に見えないものを確信させるものです。」(ヘブル11:1)



∴ 堂会長イ・ジェロク牧師

- イエス・キリスト連合聖潔会 総会長
- (社)世界キリスト教リバイバル宣教協議会 常任総裁
- (社)国会を愛する救国祈禱総連合会 共同総裁
- グローバル・クリスチャン・ネットワーク(GCN) 理事長
- 世界クリスチャン医師ネットワーク(WCDN) 理事長
- マンミン国際神学校(MIS) 理事長
- 連合聖潔神学校 理事長
- 牧会学博士、名誉神学博士
- 万民中央教会 堂会長
- ..
- キリスト教放送、極東放送等の放送説教
- 朝鮮日報、中央日報、東亜日報、韓国日報、ソウル新聞、キョンヤン新聞、文化日報、韓国経済新聞、コリア Herald、時事ニュース、クリスチャン新聞等に信仰コラム定期掲載
- アメリカ・ニューヨーク、ワシントン、ボルティモア、ロサンゼルス、ハワイ、日本、インド、パキスタン、フィリピン、アルゼンチン、ホンジュラス、ペルー、ロシア、ドイツ、ケニア、タンザニア、ウガンダ、コンゴ民主共和国、イスラエル・エルサレム、エストニア等で連合大聖会を導く

1982年、開拓礼拝の時に初めて伝えたメッセージのタイトルが「宝の中の宝は信仰」です。その後、万民中央教会の30年の歴史はただ信仰によって歩んできた道でした。極めて小さかった私たちは、はなはだ大きくなる日を信じました。神様は30年間変わらずに炎のような御目で私たちを見守り、私たちが信仰を見せるたびに、すべての逆境を栄光に変えてくださいました。それでは、開拓以後30年間、私たちの教会が信仰によって走ってきた過程にともにおられた神様のみわざをもう一度振り返ってみましょう。

1. 信仰の威力

1982年7月25日、私たちが教会を開拓したとき、聖殿は約10坪にすぎなかったし、子ども4人を含めて13人の聖徒で始まりました。開拓資金はわずか7000ウォンでした。しかし、私たちには信仰があったので、何百、何千万ウォンの大金を持っているよりもっと大胆になれました。このような信仰を持って、多くの祈りと断食を積み上げてきたのです。一週一週、説教台、マイク、電話、ピアノなど、聖殿に必要な物が一つ二つと満たされました。時に応じて賜物のある働き人も神様が送ってくださいました。聖徒の人数も短い期間に増えました。

開拓して77日目創立礼拝をささげた時は、170人以上が集まって礼拝をささげたのです。それから5年も経たないとき、登録者が3000人を超えました。聖殿を新しく建築する暇もなく、もっと大きい建物に何度も移らなければなりません。そのたびに神様は劇的に働かれて、聖殿移転の道を開いてくださいました。

このようにリバイバルできた一番大きい原動力は、みことばを確かなものとする神の力にありました。私たちの教会には大いなるいやしのみわざが現れて、開拓前から噂が広がっていました。全国各地からがん、白血病、脳腫瘍、一酸化炭素中毒、重症肺結核、3度のやけどなどで死の直前にいた人々が訪ねてきて、祈りを受けて生き返り、悪霊につかれた人がいやされました。息が絶えた人さえも生き返ったのです。

それから30年間、神の力あるわざは毎年大きくなっていきました。神の国の働きのために必要なら、神様は台風の進路が変わるなど天気も調節して下さり、星の移動とトンボ、さまざまな虹などを通して、奇しいみわざを絶えず現してくださいました。このようなみわざを体験しながら、聖徒の信仰もすくすく育ちました。それだけ世界宣教と大聖殿建築を慕う心も大きくなったのです。

2. 「宝の中の宝である信仰」とは？

私たちは目に見えない神様を信じ、天国と地獄があることを信じ、イエス・キリストが救い主であることを信じます。この信仰によって救われ、心の願いに答えられて祝福されるのです。ですから、宝の中の宝はまさに信仰だ

と言うのです。ただしこの時の信仰とは、まことの信仰でなければなりません。つまり、肉の信仰でなく、霊の信仰でなければなりません。口先だけで「主よ、信じます！」と叫ぶからといって、まことの信仰を持っているとは言えません。それでは、まことの信仰、霊の信仰とは、どんな信仰でしょうか？

第一に、神様が上から与えてくださる信仰です。

人は自分の意志で霊の信仰を持つことはできません。〈マルコ9:23-24〉を読むと、悪霊につかれた息子がいやされることを願う、ある父親の告白があります。「するとイエスは言われた。『できるものなら、と言うのか。信じる者には、どんなことでもできるのです。』するとすぐに、その子の父は叫んで言った。『信じます。不信仰な私をお助けください。』」

この時「信じます」と言う時の信仰と「不信仰な私をお助けください」と言う時の信仰は違うのです。この人はイエス様の御力を見て聞いたので、イエス様なら息子をいやして下さるだろうという知識的な信仰が生じました。それで「信じます」と告白できたのです。ところが、まだ心に完全に信じられる霊の信仰でなかったので、「不信仰な私をお助けください」と求めたのです。

それでは、どうすれば霊の信仰が持てるのでしょうか？ みことばどおり光の中を歩むとき、また神様のみこころにかなうように求めるとき、そして公義の基準にかなう器を備えるとき、神様が霊の信仰を与えてくださいます。みことばどおり生きないで罪の中にとどまっていながら「主よ、信じます」と言うなら、これは偽りです。本当に神様が生きておられることを信じるなら、神様の戒めを守る行いが伴はずです。行いのない信仰は死んだ信仰であり、死んだ信仰はどんなみわざも起こせません(ヤコブ2:17)。

第二、聞き従えないことにも聞き従う信仰です。

霊の信仰があれば、自分の思いに合わないことも、神様が命じられれば聞き従うことができます。自分の力ではできないことも、神様のみこころなら聞き従えるのです。神様が自分に最も良いものを下さる愛の父であることを信じるからです。また、自分より神様のほうが知恵のある方であることを信じ、自分の力より神様の力のほうが大きいことを信じるので、神様の知恵と力に頼って従うことができるのです。

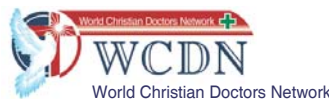
神様がアブラハムに「イサクをささげなさい」と言われたとき、アブラハムが肉の思いを働かせたなら、決して従うことができなかつたでしょう。しかし、アブラハムは神様の善と愛を徹底的に信じて、完全に聞き従いました。約束の種であるイサクをささげなさいと言われたことにも、必ず善なる意図があるだろうと信じたし、もし息子が死んでも、神様には息子をよみがえらせることもできると信じました。



Tel: 82-2-818-7042, 7063
Fax: 82-2-818-7048
www.manmin.org
e-mail: ksy7042@hotmail.com



Tel: 82-2-824-7107
Fax: 82-2-813-7107
www.gcnetv.org
e-mail: webmaster@gcnetv.org



Tel: 82-2-818-7039
Fax: 82-2-830-5239
www.wcdn.org
e-mail: wcdnkorea@gmail.com

Japanese

万民 ニュース

発行人: イ・ジェロク
編集者: ビン・グンソン
www.manmin.org/Japanese
編集発行: 万民中央教会
〒152-848 韓国ソウル市クロ区ク3ド35-3
TEL: 82-2-818-7042 FAX: 82-2-818-7048

神様はアブラハムの全き従順をはなはだ喜ばれ、アブラハムを「わたしの友」と呼ばれ、彼に与えられた約束もすべて成就されました。

第三に、移り変わる事のない信仰です。

どんな困難がやって来ても、いくら長い年月が過ぎても、霊の信仰は移り変わることがありません(マルコ11:24;ヤコブ1:6-7)。

創世記を読むと、ヤコブの息子ヨセフが小さい時に不思議な夢を見たことがあります。兄たちの束が自分の束におじぎをする夢と、太陽と月と十一の星が自分を伏し拝んでいる夢でした。ヨセフはこの夢は神様が自分を尊い人としてくださる祝福の夢であることを信じました。

ところが、それからヨセフにやって来た現実には栄光でなく、とんでもない訓練でした。兄たちのねたみによってエジプトの奴隷に売られて、さらに重罪人の濡れ衣を着せられて、深い監獄に入れられてしまいます。しかし、こういう先の見えない現実の中でも、ヨセフはいつも神様を信じました。

長い年月が経ったとき、ついに神様はヨセフを監獄から救い出され、エジプト王パロの前に立つようにされました。そして、十七歳で奴隷として売られたひとりの少年が、数奇な13年の歳月を送った末に、強大国エジプトの王の次になる者になったのです。神様が下さった夢がかなえられたのです。ヨセフに霊の信仰がなかったなら、この夢はかなえられなかったでしょう。

ヨセフはあまりにも悲惨な境遇でも、信仰を失いませんでした。ただ神様のみこころを探り窮めて、与えられたことを誠実に行いました。ヨセフが経てきた苦しみは、ヨセフに向けられた神様のみこころを成就するのに、どうしても必要な過程でした。パロの侍従長ポティファルの家で

その家を管理した時は、大邸宅の切り盛りを学ぶ時間でした。王の囚人が監禁されている監獄にいた時は、政治や国家経済に通じた人々に出会って、エジプト全土を治められる力を蓄える時間でした。苦難と絶望の歳月のように見えたこの13年は、実際にはエジプトの統治者になるための、神様の速成訓練過程だったのです。

このように神様の約束は必ず成就されます。ところが、たびたび神様が計画された時と人が願う答えの時が違うことがあります。神様が何かの約束をすぐ成就すると言われるとき、数か月後に成就されることもあり、数年後になることもあります。人の目には遅れているようでも、神様の御目には最も正確な時に成就されるのです。私たちが最後まで移り変わらぬに信じる時、神様は私たちが思っていたより大きな驚くべき答えの実を与えてくださいます。信じたことが必ず現実として現れるようにして下さるのです。

3. ただ信仰によって走ってきた道

開拓の時から本教会に下さった神様の摂理を、私たちは変わらず信じました。起きて光を放つ教会、国々の民が集まってきて救われ、世界の指導者たちを用いて全世界に神様の栄光を現す聖殿を建てること、このようなビジョンを実現しようと毎日祈りました。その道は平坦なだけではありませんでした。時にはいばらの道を歩くようで、時には崖っぷちに立っているようでした。四方八方から苦しめられているようで、一寸先も見えないような時もありました。

1991年には、当時所属していた教団によって大きな苦しみを受けたことがあります。しるしと不思議が現れて急速にリバイバルすると、教団の中からねたまれました。また、不義な人々の要求に従わないと、憎まれました。結局、教団法を無

視した手続きによって、私の牧師職を免職して教会を除名にするという一方的な宣告を受けました。しかし、ただ感謝して祈りながら、父なる神様にだけゆだねました。

時間が過ぎると、この訓練を受けるように許された神様の摂理が明らかにされました。五重福音を土台に教団を創設するようになり、以前とは違って、何の制約もなく思いきり聖潔の福音を叫ぶようになったのです。韓国のキリスト教界で認められるようになったし、持続的にリバイバルの実を結んで、1993年には開拓10年で世界50大教会に選ばれるようになりました。

そのうち1998年と1999年にかけて、もう一度大きい試みがやって来ました。主のしもべとレビ族の数人が、長い間積まれた自分たちの不正をそれ以上隠せなくなると、群れを作って教会を離れました。それだけでなく、偽りの噂をでっち上げて教会をそしり、聖徒を惑わすことはもちろん、韓国のキリスト教界と世のマスコミ、放送局にまで流しました。教会を倒そうとする緻密な計画の下に進めたことでした。

ところが、この試みが始まる前に、神様はあらかじめ知らせてくださいました。これが災いや患難でなく、むしろ光の速度で臨む祝福だと言われたのです。この事件の余波で財政が厳しくなっても、からだを焼かれるような日々の中で私のからだの気が尽きてしまい、足がよろけても、私は神様のおことばを信じました。毎週説教するたびに、講壇で大胆に祝福と栄光を宣言しました。その結果はどうなったでしょうか。1999年1月になると、やせ衰えていた私のからだに、あつという間に引き締まった筋肉がついて、がっしりした体格が変わったのです。

三度の試みが終わって2000年になると、ムアン万民教会では、塩辛い海水だ

けが湧いていた井戸から飲める水が出てくるという、驚くべき創造のみわざが現れました。そして、ウガンダ聖会を基点に本格的な海外連合大聖会の時代が開かれ、爆発的な神の力あるわざが世界に向けて繰り広げられ始めたのです。

初代教会の当時、エルサレムでのキリスト教迫害はむしろ全世界に向けた宣教のきっかけになりました。このように私たちの試練も、神の力ある働きを世界に伝える転換点になったのです。ウガンダ、日本、パキスタン、ケニア、フィリピン、ホンジュラス、インド、ロシア、ドイツ、ペルー、コンゴ民主共和国、アメリカなどで大きい集会を開きました。数万、数十万、数百万の人が集まり、神様を見つけて体験しました。

2007年からは、開拓当時命じられたとおり、福音の地の果てイスラエルにイエス・キリストを宣べ伝えることができました。海外聖会だけでなく、世界キリスト教医師ネットワーク(WCDN)と、マンミン国際神学校(MIS)が組織されて、世界宣教のビジョンがさらに具体化されました。GCN放送を通して放送宣教の門が広く開かれて、各国への文書宣教もさらに活発になったのです。五大洋六大陸の隅々まで、聖潔の福音と神の力あるわざを伝える世界的な教会としてそびえ立つようになったのです。

愛する聖徒の皆さん、

本教会の開拓以後30年間、神様はいつも私たちとともにおられて、いつも栄えるように祝福してくださいました。もちろんその中には訓練の時間があった、待つ時間がありました。しかし、これらの時間が過ぎると、神様はいつも私たちの期待より大きい実を与えてくださいました。ですから、皆さんすべてが金のような信仰によって神様に完全に頼る働き人になり、尊い栄光の道具となりますよう、主の御名によって祝福して祈ります。

日本支教会9月スケジュール

9月8日(土)	別府万民教会	権能いやし聖会(講師:加藤勲牧師)	9月26日(水)	飯田万民教会	権能いやし聖会(講師:柳スズキル牧師)
9月17日(月)	大阪万民教会	創立13周年記念礼拝(講師:金マルコ牧師)	9月26日(水)	松本万民教会	権能いやし聖会(講師:伊藤正明牧師)
9月22日(土)	名古屋万民教会	ハンカチ集会(講師:イ・ヒソン牧師)	9月29日(土)	舞鶴万民教会	リバイバル癒し聖会(講師:金マルコ牧師)
9月23日(日)	名古屋万民教会	創立18周年記念礼拝・勸士就任式(講師:イ・ヒソン牧師)	9月30日(日)	東京万民教会	権能いやし聖会(講師:崔ヒョンラン牧師)

主日大礼拝、主日夕方礼拝、金曜徹夜礼拝はソウルの万民中央教会の礼拝をNSS-6衛星で同時にささげています。

- ・イエス・キリスト飯田万民教会
〒395-0807 長野県飯田市鼎切石 3883-4
T) 0265-56-8286
<http://iidamanmin.to.cx/>
- ・名古屋万民教会
〒465-0014 名古屋市名東区上菅 1-916
T) 052-774-8874
- ・イエス・キリスト山形万民教会
〒999-3716 山形県東根市蟹沢 1486-4
T) 0237-43-0771
- ・イエス・キリスト別府万民教会
〒874-0924 大分県別府市餅ヶ浜町 4-41
T) 0977-23-8980

- ・イエス・キリスト大阪万民教会
〒591-8023 大阪府堺市中百舌鳥町 5-775-15
T) 072-220-5289
<http://www.osmanmin.com/>
- ・イエス・キリスト旭川万民教会
〒071-8144 北海道旭川市春光台4条 3丁目 11-23
T) 0166-53-0652
- ・イエス・キリスト東京田端万民教会
〒114-1102 東京都北区田端新町3丁目36-1 栄ビル2F
T) 03-3809-3326
<http://tabata.manmin.or.kr/>
- ・イエス・キリスト川崎万民教会
〒210-0818 神奈川県川崎市川崎区中瀬2丁目12-8
グリーンヴァレ 301号室
T) 044-287-7339

- ・イエス・キリスト松本万民教会
〒399-0033 長野県松本市笹賀 4343
T) 0263-57-0003
- ・イエス・キリスト舞鶴万民教会
〒624-0913 京都府舞鶴市上安久 138
T) 0773-75-5656
<http://www.manmin.jp/>
- ・岡山万民教会
〒706-0002 岡山県玉野市築港1丁目7-26
T) 0867-72-7276
- ・イエス・キリスト銚田万民教会
〒311-2102 茨城県銚田市台濁沢1080-6
T) 0291-39-9177

- ・イエス・キリスト東京万民教会
(東京万民宣教センター)
〒167-0051 東京都杉並区荻窪 2-29-13
T) 03-6915-1740
- ・イエス・キリスト京都万民教会
〒611-0001 京都府宇治市六地藏奈良町61-22
T) 0774-66-3417
- ・イエス・キリスト沼津万民教会
〒410-0802 静岡県沼津市上土町6第一ビル2F
T) 055-952-6861

私たちの救い主イエス様の御足の跡を追って

I.ベツレヘム II.エジプト・ナザレ III.ガリラヤ湖 IV.エルサレム



2007年7月23日から777日間行われたイスラエル宣教の終わりを飾る「2009年イ・ジェロク牧師招へいイスラエル連合聖会」から今年で3年である。聖会3周年を記念して、私たちの救い主イエス様の御足の跡を追う最後の旅に出てみよう。

救いの摂理が込められたエルサレム

エルサレムは4000年の歴史を持つ都市であり、B.C.1000年頃、ダビデがエブス人を征服して、ここを首都に定めた。ダビデの息子ソロモンが聖殿を建築し、統一王国の政治的、宗教的中心地になったエルサレムは、B.C.586年、バビロンのネブカデネザル王により聖殿とほとんどの建物が破壊され、城壁なども多くが壊され、生き残った住民は追放された。バビロン捕囚から帰還した後、すなわち、エズラとネヘミヤにより聖殿が再建築される前まで、エルサレムは廃墟であった。

このようにエルサレムは神の選びと臨在、保護、そして栄光の場所であると同時に、イスラエルの民の不従順によるさばきの場でもあった。また、イエス様の公生涯の後半期の働きの中心地であるエルサレムは、人間の救いの摂理を成し遂げるため、十字架の死と復活、昇天があった所であり、聖霊降臨と初代教会が始まった所でもある。しかし、ユダヤ人はいまだにイエス様を救い主として受け入れられないまま、メシヤを待っている。エルサレムはユダヤ教の核心地域で、最も多くの正統派ユダヤ人が住んでいる所である。



ゲツセマネの園、万国教会

エルサレムの東、ギデロン溪谷を目の前にしたオリーブ山の西の麓にあるゲツセマネの園は、イエス様が弟子たちとともに行って祈られた所である。神の御子だか人としてこの地上に來られたイエス様は、十字架につけられる前夜も、弟子たちと最後の晩餐をすませてこの園に上がって祈られ、そこで捕えられた。

万国教会は、万民を救うためにゲツセマネの園で祈られたイエス様を記念して建てられた。アルゼンチン、ブラジル、チリ、メキシコ、イタリア、フランス、スペイン、イギリス、ベルギー、カナダ、ドイツ、アメリカ、アイルランド、ハンガリー、ポーランド、オーストラリアの16か国から寄付を集めたので、万国教会または万民教会と呼ばれる。

ギー、カナダ、ドイツ、アメリカ、アイルランド、ハンガリー、ポーランド、オーストラリアの16か国から寄付を集めたので、万国教会または万民教会と呼ばれる。

十字架の道、ピアドロローサ

ラテン語でピアドロローサ(Via Dolorosa)と言われる「十字架の道」は「悲しみの道」「苦しみの道」とも呼ばれる。イエス様がポンテオ・ピラトの裁判を受けられた所から、十字架を負ってゴルゴタの丘に向かって歩かれた約800mの道と、ゴルゴタの丘で十字架刑に処せられるまでの全過程を言う。



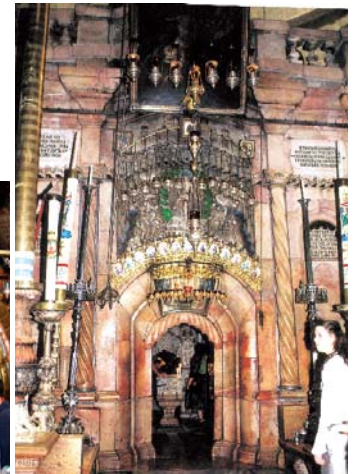
ピアドロローサ
十字架を負って行かれた受難の道



第3留
十字架を負って最初に倒れられた所



第12留
十字架の上で息を引き取られた所



第14留
アリマタヤのヨセフがイエス様を墓に納めた所

嘆きの壁、神の神殿の場所に建てられたイスラム寺院

A.D.70年、エルサレムはローマ軍により、石がくずされずに積まれたまま残ることのないほど、完全に破壊された。しかし、神殿を支えていた西側の外壁の一部が今まで残っている。これが嘆きの壁だ。去る2000年間、嘆きの壁は全世界に散って生きているユダヤ人に帰郷の夢を象徴する場になってきた。国のない民として受難と迫害を受けてきたユダヤ人はここを訪ねて、苦しみと恨み多い彼らの人生を涙で神に訴えた。それで、嘆きの壁という名前がつけられるようになった。

エルサレム神殿の場所に、今はイスラム寺院が建てられている。イスラエルが滅亡した後、エルサレムを占領したイスラム教徒が彼らの聖地としたのである。今でもエルサレムの情勢はイスラエルとイスラム教徒の紛争のため危険である。

福音の回帰のためのイスラエル宣教

1982年、教会開拓の時からイスラエルを目ざめさせるために祈ってきたイ・ジェロク牧師は、2007年7月から12回にわたってイスラエル宣教を実践してきた。2007年11月には、神の選民イスラエルを目ざめさせて救おうとなさる神のみこころが込められた『目ざめよ、イスラエル』を編集した。

2009年9月6日と7日には、エルサレムICC(国際コンベンションセンター)でクリスタル・フォーラム(イスラエル牧会者協議会)主催で開催された「2009年イスラエル連合聖会」の講師として立った。「創造主の神」と「イエスがなぜ私たちの救い主であるのか」についてメッセージを取り次いだ後、病人のために祈ると、多くの人がいやされて神に栄光を帰した。「神は偉大なり」というテーマで開かれたこの聖会は、世界36か国から参加、マンミンテレビをはじめエンラセ、CNL、TBNロシア、デジタルコンゴ、GCN、デイスター、ミラクルテレビ、HEAVEN 7などの地上波、ケーブル、衛星など33のテレビ放送局から世界220か国以上に8か国語で生中継および録画放送された。福音が始まったイスラエル、イエス様が救いの摂理を成し遂げられたエルサレムなのに、今日福音を伝えることが難しい所で、イエス様こそ救い主であると広く宣べ伝える歴史的な聖会だった。

今イスラエルは目ざめ始め、キリスト教はリバイバルしている。3年間、全国を巡りながら実践してきたイスラエル宣教を通して、神の力あるわざを見て聞いて体験したイスラエルのクリスチャンの心に、みことばが植えつけられたからだ。これらすべてはただ神と主がなさったことである。今後、主が來られる時まで、そして七年患難の間、イスラエルのクリスチャンたちが果たすべき使命はまことに大きい。

